

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科

国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組～ G組

教科担当者：（A組：盛田）（B組：金澤）（C組：松平）（D組：松平）（E組：金澤）（F組：金澤）（G組：盛田）

使用教科書：（筑摩書房「高等学校 言語文化」）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】社会生活に必要な知識・技能を身につけると共に、国語に対する理解を深める。
- 【思考力、判断力、表現力等】論理的思考力を鍛え、豊かな想像力を育み、他者と互いに考えを伝え合う力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】幅広い読書を通して自己を向上させ、言葉を通して社会との関りを深める。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A『児のそら寝』 【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深める。	指導事項…主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 ・教材『児のそら寝』等		○		【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。	○			11
	B『訓読の基本』 【知識及び技能】 ・漢文訓読の基礎を身につける。 『推敲』 【学びに向かう力 人間性等】 ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめる。	・指導事項…漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 ・教材『訓読の基本』等 ・教材『推敲』		○		【知識及び技能】 ・返り点および書き下し文の知識が身についている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめている。	○			10
	定期考査						○	○		1
	C『大江山の歌のこと』 【思考力、判断力、表現力等】・説話集という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え作品の見方や考え方、内容を解釈する。	・指導事項…作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・教材『大江山の歌のこと』等			○	【思考力、判断力、表現力等】 ・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。	○	○	○	5
	D『羅生門』 【知識及び技能】 語句・語彙の意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 老婆の下人への影響を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を読み解き、内容や展開を捉える。	・指導事項…下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉える。 ・教材『羅生門』等			○	【知識及び技能】 ・語句・語彙の意味や背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・行動や心理を基に場面の展開を捉え、老婆が下人に与えた影響を読み取っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。	○	○	○	7
	E『竹取物語』 【思考力、判断力、表現力等】 ・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。	・指導事項…作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・教材『竹取物語』等			○	【思考力、判断力、表現力等】 ・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。		○		5
	F『漁夫之利』 指導事項…故事成語の由来となった話を読み、古典と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・教材『漁夫之利』等				○	【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめている。			○	5
	定期考査						○	○		1
2 学 期	G『芥川』『東下り』 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の中における和歌の役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・内容や展開を的確に捉え、作品のものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。	・指導事項…話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・教材…『芥川』『東下り』等			○	【思考力、判断力、表現力等】 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解している。 ・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。		○	○	12
	H『管鮑之交』 【知識及び技能】 ・訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・史話に描かれた情景や人物の心情を表現に即して読み味わう。	・指導事項…訓読のきまりを理解すると共に、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解く。 ・教材『管鮑之交』（十八史略）等			○	【知識及び技能】 ・訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・史話に描かれた情景や人物の心情を表現に即して読み深めている。	○	○		8
	定期考査						○	○		1
	I『土佐日記』	・指導事項…記録としての日記と				【知識及び技能】				

[illegible]